

～町民税・県民税申告書の書きかた～

①収入・所得金額等

●営業等…自営業、外交員、一人親方などの収入があった人
●農業…農作物の生産、家畜の飼育などによる収入があった人
●不動産…地代、家賃、駐車場などの貸借に関する収入があった人
※営業等・農業・不動産の収入がある人は、「収支内訳書」を添付して提出してください。
●給与…給与、アルバイト、日雇いなどによる収入があった人
●公的年金等…年金・恩給などの収入があった人
●業務雑・その他雑…個人年金、シルバー人材センターからの配分金、主たる業としない原稿料・講師料・内職など
●一時…生命保険・損害保険の満期金や解約金などの収入があった人

②社会保険料控除

納付書や口座振替等で支払ったり年金から差し引かれた国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料やあなたが支払った国民年金保険料、国民年金基金の掛金などの金額を記入。
小規模企業共済、企業型確定拠出年金のうち個人拠出分等の掛金の金額もこの欄に記入
※保険料や掛金は、納付額のわかる確定申告用控除証明書の原本を添付してください。

③生命保険料・地震保険料控除

●生命保険料控除…支払った生命保険料、介護保険料、個人年金保険料の金額を記入
※適用契約の新旧の別、種類、対象金額は控除証明書でご確認ください。
●地震保険料控除…支払った地震保険料、旧長期損害保険料の金額を記入
※生命保険料・地震保険料の控除を申告する場合は、保険会社から発行される確定申告用控除証明書の原本を添付してください。

④本人に関する事項・障害者控除

●寡婦・ひとり親控除…該当する場合は、いずれかにチェックしてください。また、その理由（死別・離別等）該当項目にチェックしてください。
●勤労学生控除…学校・各種学校等の学生で、合計所得85万円以下で給与特等以外の所得が10万円以下の人
※在学証明書の原本を添付してください。
●障害者控除…障害者手帳の交付を受けている人（申告者本人、扶養親族等）は手帳の種類と等級を記入してください。

⑤配偶者・扶養控除等

●配偶者控除・扶養控除
申告者本人と生計を一にする配偶者（申告者本人の合計所得が1,000万円を超える場合は、控除額なしの同一生計配偶者となります）や親族で、合計所得金額が58万円以下の人を記入
●配偶者特別控除
申告者本人の合計所得が1,000万円以下で、配偶者の合計所得が58万円超123万円以下の場合は記入
●特定親族特別控除
特定親族（19歳以上23歳未満）の合計所得が58万円超123万円以下の場合は特親に○印をしてください。
●16歳未満の扶養親族
扶養控除は対象外ですが、障害者控除の適用や均等割・所得割の非課税限度額の算定で必要となる場合がありますので、忘れずに記入してください。

令和 8 年度分 町 民 税 申 告 書

表

御代田町 現住所 町長殿 氏名 個人番号

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

② 社会保険料 ③ 生命保険料 ④ 障害者 ⑤ 雑損 ⑥ 雑損 ⑦ 雑損

収入金額等 所得金額 所得から差し引かれる金額

1 収入金額等 2 所得金額 3 所得から差し引かれる金額

4 所得から差し引かれる金額

5 雑損 6 雑損 7 雑損

8 雑損 9 雑損 10 雑損

11 雑損 12 雑損 13 雑損

14 雑損 15 雑損 16 雑損

17 雑損 18 雑損 19 雑損

20 雑損 21 雑損 22 雑損

23 雑損 24 雑損 25 雑損

26 雑損 27 雑損 28 雑損

29 雑損 30 雑損 31 雑損

32 雑損 33 雑損 34 雑損

35 雑損 36 雑損 37 雑損

38 雑損 39 雑損 40 雑損

41 雑損 42 雑損 43 雑損

44 雑損 45 雑損 46 雑損

47 雑損 48 雑損 49 雑損

50 雑損 51 雑損 52 雑損

53 雑損 54 雑損 55 雑損

56 雑損 57 雑損 58 雑損

59 雑損 60 雑損 61 雑損

62 雑損 63 雑損 64 雑損

65 雑損 66 雑損 67 雑損

68 雑損 69 雑損 70 雑損

71 雑損 72 雑損 73 雑損

74 雑損 75 雑損 76 雑損

77 雑損 78 雑損 79 雑損

80 雑損 81 雑損 82 雑損

83 雑損 84 雑損 85 雑損

86 雑損 87 雑損 88 雑損

89 雑損 90 雑損 91 雑損

92 雑損 93 雑損 94 雑損

95 雑損 96 雑損 97 雑損

98 雑損 99 雑損 100 雑損

⑥雑損控除・医療費控除

●雑損控除…申告者本人や生計を一にする合計所得58万円以下の親族が所有する住宅・家財等の資産が災害、盗難等の被害を受けた場合に記入
※証明書等の添付が必要です。
●医療費控除…支払った医療費が10万円または総所得金額の5%のいずれか少ない金額を超えた場合、または特定一般用医薬品等の購入額が12,000円を超え、一定の取組を行っている場合は記入
※医療費控除の明細書を作成し添付してください（明細書を省略したい場合は、医療費通知の原本を添付してください）。
※おむつ代の医療費控除を申告する人は、かかりつけ医が発行する「おむつ使用証明書」を添付してください。
※セルフメディケーション税制を選択する場合、一般用医薬品購入費の内訳を計算した明細書の作成・添付が必須です。一定の取組を証明する書類の添付または提示が必要です。

⑦給与・公的年金等以外の
町民税・県民税納税方法

給与所得者で主たる給与以外の所得に対する町民税・県民税について、給与からの天引きとは別に納付書または口座振替を希望される場合、自分で納付（普通徴収）に☑チェックしてください。

収入がなかった人

収入がなかった方は、2 所得金額の合計に「0」と記入し、前年中の状況を裏面⑬へ記入してください。

表面の2所得金額の合計に「0」と記入し、前年中の状況を⑬へ記入してください。

●親族の扶養であった…1に○印をして、扶養者の住所、氏名、続柄を記入してください。

●非課税収入で生活していた…2に○印をして、該当箇所にも○印をしてください。その他の場合は具体的に生活状況を記入してください。